

皆様お元気でお過ごしでしょうか。津山高校同窓会岡山県南支部では、2023年の2月5日に令和4年度総会・懇親会を開催しました。支部の会員ら約90人が出席。令和元年度から3年度の事業報告、収支決算報告が原案通り承認されました。任期満了に伴う役員改選も行われ、支部長には昭和45年卒の松本健五氏を再任しました。

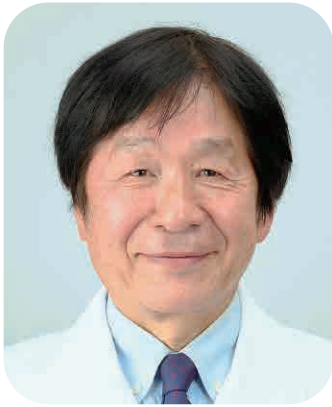
総会に続き、西日本電信電話株式会社相談役の小林充佳さん（昭和51年卒）に「電話の今昔物語」と題し記念講演をしていただいた後に懇親会に移り、津山高校の思い出話などで大いに盛り上がりしました。

昨年の総会以来、支部活動もなかなかできていないところでしたが、今年度は、9月21日（土）にビアパーティーを、令和7年2月23日（日）には令和6年度総会・懇親会をいずれもアークホテルで開催を予定しております。ビアパーティーのご案内がほぼ1か月前になってしまい、申し訳ありません。同封のハガキにてご出欠を事務局までお願いいたします。総会・懇親会につきましては、来年に改めてご案内をさせていただきますが、今からご予約をお願いいたします。

ビアパーティーおよび総会・懇親会での同窓生の一層の交流を図る会にいたしたく、同期の方、職場の同窓生にもぜひお声がけをお願いいたします。



令和4年度総会・懇親会（2023年2月5日）



ご挨拶

支部長 松本 健五

時下、県南支部同窓の皆様おかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、県南支部の会報「県南クラブ」も今回で第28号となりました。コロナ禍の影響もあり2022年3月第27号発刊からこの時期に延期となり、久々の発刊となりました。

さて、新年を新たな気持ちで迎えた矢先、元旦には、石川県能登地域で地震が発生、2日には、羽田空港での航空機事故という心の痛む災害や事故が起きました。本当にこんなことが起こるのかと激しく心が揺らぐ年の初めとなりました。また、2024年という年は、将来振り返った時に「歴史上大きな転換の年」、また「予測不能な変化の年」になるのではないかと感じました。

その理由は2つです。

1つ目は、地政学リスクによる転換です。米中対立をはじめ、ウクライナや中東での紛争など、世界のあらゆる地域で騒乱が継続しています。それに対応する各国の足並みの乱れがもはや、常態化しています。特に、今年は世界情勢に大きな影響を与える国や地域などでリーダーを決める選挙が相次ぐ「選挙イヤー」となります。世界の民主主義が存続の岐路に立っている現在だからこそ、民主主義の有り方にスポットライトが当たる年でしょう。

2つ目は、災害のリスクです。地震や豪雨、台風と、ここ数年は毎年のように、激甚災害に相当する

災害が立て続けに発生しています。誰もがある日突然、地震や豪雨、台風といった災害に遭い、被災者となることを覚悟しなければならない時代になりました。これは日本に限ったことではありません。

さて、【平時】と【有事】という言葉は、どちらも世の中の状況や世間のありさまを表す時に用いられています。【平時】とは、特に変わったことのない平常な時や、戦争や事変のない平和な時を意味します。一方、【有事】とは、戦争や事変などが起こり、非常の事態になることを意味します。主に戦争などの軍事的な危機を表しますが、甚大な自然災害や感染症のパンデミック、経済の危機的状況などにも使用できる言葉です。コロナ禍という【有事】に振り回されていた数年間、それまで「当たり前」と思っていた【平時】の有り難さを、私のみならず多くの人が痛感したのではないのでしょうか。要するに「あたり前」とは「有り難い（有ることが難しい、めったにない）」ことだったのです。「あたり前に感謝」なのです。

末筆になりましたが会員の皆様とご家族の無事息災と支部活動が再開されることを祈念しご挨拶とさせていただきます。

(まつもと・けんご。昭和45年卒。岡山市立総合医療センター理事長)

母校の近況

岡山県立津山高等学校長 滝澤 浩三



県南支部の皆様には、平素から本校教育活動の推進につきまして、御理解・御協力を賜りますとともに、心温かい御支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、ここで、津山中学校・高等学校の近況について、少し御報告させていただきます。

ご存じのとおり、平成27年に津山中学校を開校し、中学生は1学年2クラス、高校生は1学年6クラスで中高合わせて約千名の生徒が一緒に学んでいます。本校は平成24年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、指定第Ⅲ期目の指定期間5年間の第3年次の研究を行っています。本校の研究開発課題は「高い専門性とグローバルな視点を兼ね備えた次世代トップサイエンティストの育成」です。本校では「Vision」「Grit」「Research Mind」、すなわち、将来を見通す力、困難を乗り越え最後までやり抜く力、課題の解決に向け探究する力をVGRと位置づけ、これらの資質能力を身に付けてもらうことを目標に教育活動を行っています。

また本校は、「畏天敬人」の校訓の下、創立以

来、「文武両道」、「質実剛健」の校風を受け継ぎ、学業はもとより、部活動も活発に行っています。昨年度は、陸上競技部のインターハイ入賞をはじめとして、多くの部が、県大会、中国大会等で活躍しています。

さて、中学校はこの春10期生を迎えました。また、津山高校は今年で創立130年目を迎えます。令和7年度には津山高等学校創立130周年・津山中学校創立10周年記念事業を行う予定で、今年の3月に準備会を開催し、令和7年秋に記念式典等を実施する計画で準備を進めているところです。同時に、施設設備の充実事業として、視聴覚教室の整備を計画しております。視聴覚教室にICT機器を整備し、探究型の教育環境を整えることにより、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びを充実させたいと考えておりますので、同窓会の皆様方にもご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、津山高校同窓会岡山県南支部のさらなる御発展と、会員の皆様の益々の御健勝を祈念いたしまして、近況報告とさせていただきます。



随想

桓武天皇と百済の武寧王

就実大学名誉教授 杉山 慎策

今年の大河ドラマは「光る君へ」、久しぶりの平安時代のものである。過去平安時代のドラマでは画面が暗く一般受けが悪かった。今回は映像が明るく、かつ、衣装も煌びやかで見ていて楽しい。このドラマの舞台となっている京都を都と定めたのは第五十代天皇の桓武天皇（在位781年から806年）である。桓武天皇は平城京（現在の奈良市）で即位し、その後長岡京（現在の日向市、長岡京市、京都市左京区）に784年に遷都する。しかし、その10年後の794年に平安京（現在の京都市）に遷都し、1868年の明治維新まで日本の首都であった。

この桓武天皇について現在の上皇は2001年12月18日の天皇誕生日の会見で、次のように述べられている：

「私自身としては、桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫であると、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じています。」

百済第二十五代の王である武寧王（在位502年から523年）の古墳はソウルの南西約120kmのところにある百済の首都公州にあり、1971年全くの未盗掘状

態で発見された。棺は韓国にはない高野槨で出来ていて日本から輸入され黒の漆で仕上げられている。また、「日本書紀」では武寧王は佐賀県の加唐島で生まれたとされる。

筆者は公州市にある国立公州大学校と提携をする機会に恵まれた。公州市は大学町であり、人口10万人、内学生総数は2万人である。公州市には錦江が流れ、百済の古城（公州城）がある。ゼミ生たちを連れて公州大学校と交流したことがある。

武寧王の古墳から発掘された埋蔵品は武寧王陵博物館に展示されており、公州大学校の先生にご案内いただいた。公州市の近くには錦江沿いに百済の古都扶余がある。扶余は、白村江の戦いで多くの百済人や日本人が犠牲となった場所でもある。

京都を作った桓武天皇の母方の先祖が武寧王である。韓国を訪問するのであれば、一度是非ソウルから公州や扶余に足を延ばされることをお勧めしたい。

（すぎやま・しんさく。昭和42年卒）

随想



「お城やま」の桜

授業デザイン研究所 三浦 隆志

今年の4月上旬、実家のある津山に泊まる機会があった。ご存じの通り、この時期、津山を代表する観光地の一つである鶴山公園は、約1000本の桜が咲き誇る。同窓生の皆さまには鶴山公園というより「お城やま」の呼び方の方がしっくり来るかもしれない。高校時代、宴会をする訳ではないが、年度初めの4月、旧クラスで集まって花見に行くことが何度となくあった。校内放送で「旧〇年〇組、鶴山^{かくさん}の入り口に〇時に集合してください」というアナウンスが、この時期の恒例でもあった。高校卒業後、津山から離れたが、毎年4月のこの時期になると、何かしらの理由や用事をつくって津山に帰り、桜が咲き誇る鶴山公園を少し離れたところから眺め、春を感じることにしてきた。しかし、今年は、何十年ぶりに登ってあの桜の中を歩いてみようと考え、早起きをして、この「お城やま」に行ってみた。津山国際ホテルがあった所に設けられた臨時駐車場に車を止めて、ゆっくりと満開の桜を愛でることができた。もちろん、整備された石垣に咲く満開の桜のなかで老若男女が宴会を繰り広げている様子や2005年に復元された備中櫓に重なる桜の景色、いろいろな角度から桜を撮影されている観光客の様子など、冬

から解放され、多くの桜から春の風情を満喫している様子は今も昔も同じである。実は、お城やまに行って見たくなったのは、桜とともに、公園整備によって中はどうなっているのか、という疑問があったからである。入り口から石段を登っていくと、まもなく右手に鶴山動物園の跡地（2011年閉鎖）が見える。小学生の時、夏の図画の宿題で、何度もライオンや孔雀を描きに来た場所である。当然、動物の檻などはなく更地が東の方向に広がっている。さらに登っていくと、昔、メガネの金楊堂さんのテレビCMで出てきた大きな石段に出合う。現在、街中の歩道は、ユニバーサルデザインで広くフラットに整備されているが、さすがにお城やまの石段は昔のままで、少々どころか非常に歩きにくい。本丸下の両側に紫陽花が植えられている通路を歩き、さらに厳しい石段を上がりようやく本丸にたどり着いた。本丸は、備中櫓の復元による整備で、南側の石崖そばの藤棚ぐらいを見つめることができて、たくさん植えられていたツツジはなくなっていた。高校時代、この藤棚から、南の津山駅の方向を眺めつつ、友と語り合った記憶が蘇ってきた。一方、備中櫓の復元に伴って、昔は行くことができなかった西側の石垣も整備された。ここからは西北に広がる雄大な津山盆地の景色が堪能でき、思わず津山高校の本館を探したくらいであった。（本丸の西側に行く際に、石垣の中に「ハート型」の石があり、インスタ映えとか、縁結びとかで有名であるそうだ。）

久しぶりのお城やまは、昔のことを多く思い出させてくれた。来年の桜の時には、ひとつ、誰か同期の仲間を誘って、花見でもやろかなと思えるくらい楽しいひとときであった。

（みうら・たかし。昭和52年卒）





随想

実務家から地方創生の主体者を育てる立場へ

山陽学園大学地域マネジメント学部 准教授

神田 将志

一昨年の秋から、山陽学園大学地域マネジメント学部で教員を務めています。31年間、岡山のマーケティング・出版・市場調査などを行う会社に勤務しておりました。地方創生に関わってきた実務経験を活かし、地域ブランド論や経営学（戦略と組織）などについて学生にお伝えしています。真剣にディスカッションに参加してくれる学生、私のゼミを選んでもくれた学生たちを、地方創生の主体者として力いっぱい育てたいと思っています。

オールドルーキーで僭越ながら、大学教員のタスクをご説明しますと、教育、研究、地域貢献、大学マネジメントの4つになります。教育は主に授業やゼミですが、これは学生に理論と実務ケースをつながけながらお伝えできる点で非常に楽しいです。可能な限り、ディスカッション、グループワークなどを行っています。特に地域マネジメント学部では、地域へのフィールドワークを重視しており、昨年のゼミでは、津山市が取り組む「まちじゅう博物館構想」を推進するための実習として「地域合宿」と称し、津山市に1泊2日でフィールドワークを行いました。倉敷市玉島地域の活性化にもコミットしています。また、「岡山イノベーションコンテスト2023」では、ゼミ生が「サンマルク賞」を受賞しました。今後の活躍が楽しみです。

研究は、地域のマーケティング、地域の消費者行

動が私の研究テーマです。年に1本は論文をジャーナルに発表しようと、頑張っています。地域貢献においては、おかげさまで、様々な自治体や企業から連携のお話をいただいています。現在2自治体から委員長を仰せつかり、地域課題の解決にも取り組んでおります。企業からも様々な協働案件をいただいております。学生と一緒に地域課題の解決者として取り組んでまいりたいと思います。地方創生に真剣に取り組む主体者を育てておりますので、山陽学園大学地域マネジメント学部をどうぞよろしくお願いいたします。



(かんだ・まさし。昭和62年卒)

第28号

津山高校

県南クラブ



中学生にもわかる 放射線・放射能と原子力発電

安東 醇 著

(昭和29年卒)

通商産業研究社 発行

定価 1,320円

カイロプラクティック

行 成 治 療 院

院 長 松 下 行 成

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7
TEL (086) 474-6785

黒明 東洋治 (昭和33年卒)

2025年末、創作ミュージカル「サーカス・サーカス」を上演
OMA (岡山表町ミュージカルアカデミー)

一般社団法人岡山表町文化振興協会

事務局次長 片山 淑雄

(昭和45年卒)

〒700-0822 岡山市北区表町3-6-35
tel 086-232-2515

<https://www.oma-m.org/>
mail : info@oma-m.org

地方独立行政法人

岡山市立総合医療センター理事長

松 本 健 五

(昭和45年卒)

水と取り組む・実績と信用

上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工

株式 株式会社 佐藤管材工業

代表取締役 佐藤 三平 (昭和46年卒)

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2
TEL (086) 292-5311 (代) FAX (086) 292-5188



株式 株式会社 システムフロンティア

取締役会長 永 禮 一 平

(昭和46年卒)

〒700-0923 岡山市大元駅前3番50号
TEL (086) 230-0326 FAX (086) 230-0326
E-mail : nagare@s-frontier.co.jp
URL : <http://www.s-frontier.co.jp/>

岡山中央法律事務所

元検事 弁護士 板垣 和彦

(昭和48年卒)

〒700-0821 岡山市北区中山下1-9-1 山陽アルファ中山下ビル6階
TEL (086) 212-2120 FAX (086) 212-2130
URL <http://www.okachulaw.com/>
E-mail itagaki@okachulaw.com

岡山県南支部 副支部長

長 森 定 好

(昭和50年卒)



水と空気を管理する
山陽技研株式会社

代表取締役社長 井上 沙緒 (昭和53年卒)

空気調和、給排水衛生設備工事 設計施工
設備設計一級建築士事務所

本 社 / 〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号
TEL 086-231-0248 FAX 086-224-4765
<http://www.sanyo-giken.co.jp>
倉敷営業所 / 倉敷市北畠2丁目17番27号

(株) オーノ

児童デイサービス・放課後等デイサービス
(ぐるぐるめろん島・ふるーつ村・もりもりめろん広場・おれんじ村)
日 中 一 時 支 援 (まーぶるの森)
特 定 相 談 支 援・障害児相談支援
保育所等訪問支援

(医) 大野はぐくみクリニック (旧 大野小児科医院)

(株) オーノ 代表取締役 / (医) 大野はぐくみクリニック 理事

大野 順子 (昭和61年卒・旧姓 只友)

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-2-11
TEL (086) 254-7777
melonjima.net o-hagukumi.net



税理士法人 石 井 会 計

代表社員 税理士

齊 藤 司 幸 (昭和61年卒)

〒700-0975 岡山市北区今8丁目11-10
TEL (086) 201-1211 FAX (086) 201-1215
URL : <http://www.ishii-cpa.com>
E-mail : ishiicpa@mx4.et.tiki.ne.jp

山田方谷の
思想と改革

杉山慎策(中国学園大学・中国短期大学 編)



竹 内 宏 器

(昭和40年卒)

沼 元 昇

(昭和52年卒)

幕末に藩政改革を成し遂げた山田方谷を、経営学的に考察すると一。
「新しい財やサービスの生産」
「新しい生産方法の導入」「新しい販売先の開拓」
などのイノベーションを興した
アントレプレナーである

吉備人出版 定価：本体1000円＋税



随 想

38年目の初同窓会

ガードナー・ニッキー

津山高校を38年前に卒業して以来、母校との繋がりは正直薄いものでした。2年生の夏から1年間アメリカへ留学したため留年した形となり、帰国して半年後には昔からの同級生達はひと足先に卒業。1年遅れで卒業することになりました。

当時共通一次試験に向けて猛勉強する同級生をよそに、私は TOEFL を受験、アメリカの大学に進学しました。卒業と同時にアメリカ人の夫と結婚。ハワイ州ホノルル市でバイリンガル秘書、ワシントン州シアトルー成田間を飛ぶ客室乗務員として航空会社に勤務するなど、英語と日本語を活かせる仕事をしながらアメリカンライフを満喫していました。それがある日「日本で英語を教えた」という夫の訴えから、二度と日本に戻らないと腹を括っていた私に大きな転機が訪れたのです。

富士山の裾野に広がる静岡県御殿場市にある英会話スクールで始まった久しぶりの日本での生活。夫をはじめ、他の講師も全員アメリカ人、日本に居ながら日常会話はほぼ英語という、外国人として過ごすような不思議な日々でした。この年は阪神大震災、サリン事件があった年でしたので、もう随分昔の話にはなりますが、一年でアメリカに戻るはずが、数十年後の今も日本で暮らすことになった経緯は運命のいたずらとしか思えません。現在は岡山と倉敷で英語、ジャズダンス、ピラティスなどの指導にあたっています。

津山高校に限らず、同窓会と名の付くものには全く無縁で、懇親会への招待ハガキも何年も送らず仕



同期の皆さんと

舞いでしたが、2023年2月、県南支部同窓会に初めて参加したお陰で、同期の方や著名な大先輩方とご縁をいただき、疎遠になっていた母校との繋がりを再構築できたことは近年の一大イベントとなりました。これからは同窓の輪が益々広がるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思います。

(ガードナー・ニッキー。昭和61年卒)

随 想

これまでを振り返って

(株)システムズナカシマ 山本 千智

津山高校を卒業してから6年が経ちました。高校生活、大学生活、そして社会人として働く今を振り返り、感じたのは「やってみたいと思ったことは挑戦してみる」という思いをずっと大切にしていることでした。

津山高校で出会った友人たちは、それぞれ違う大学に通っていましたが、今でも連絡を取り合い、一人が「これやってみようよ」と提案すると、皆で計画を立てて旅行に行きます。私たちが変わらずこの関係を続けられているのは、津山高校で互いに勉強を教え合い、試験に全力を尽くした後は、皆で遊びに行ったりと、とても濃い学生生活を送ることができたからだと思っています。

大学では、アルティメットフリスビーというスポーツに初めて挑戦しました。小学6年生から高校卒業までラケット競技しかしてこなかった私が、フリスビーを持ち、試合ではコート内を約1時間走り続けていたことを思い返すと、今でも不思議な気持ちになります。

そして、社会人になった今、高校・大学では文系学科に所属していた私が、システムエンジニア(SE)として働いています。入社時は、プログラミング未経験の状態でしたが、新しいことに挑戦してみたいという思いから、SEとして働くことを決意しました。同期の中で唯一の未経験者で、新入社員研修の時には、周りとは大きく差があることが悔しく、泣き



そうになりながらも頑張っていました。そんな日々を送っていた1年目から、気づくともう2年が経ち、4月には同じグループに新入社員が配属され、直属の後輩ができました。

「やってみたいと思ったことは挑戦してみる」という思いは、今も、そしてこれからもずっと大切にしていきたいと考えています。挑戦することで得られた経験は、自分の人生を大きく変える力を持っていると思います。

これまでの経験を活かして何事にもチャレンジする気持ちを忘れず、お客様に最適なシステムが提供できるよう、日々精進してまいりたいと思います。

(やまもと・ちさと。平成30年卒)

ビアパーティー 2024



日 時 令和6年9月21日(土) 18時～20時

場 所 アークホテル岡山

岡山市北区下石井2丁目6-1 TEL 050-5576-7665

県南支部会員の親睦を図るため、ビアパーティー2024を開催します。同窓会は異業種交流の場です。世代を超えた人脈を広げ、ビジネスチャンスにつなげてください。

若い人に気軽に出席してもらうため、参加費は現役学生は無料、平成年代以降の卒業生は男女とも3,000円。昭和年代の卒業生は男性5,000円、女性4,000円です。

冷たいビールで酷暑の夏の疲れを癒やし、作州や母校の話で大いに盛り上がりましょう。スパークリングワインやソフトドリンクも飲み放題です。作州の冷酒も用意します。

参加希望者は会報に同封している返信用はがきを支部事務局まで送ってください。

〆切は9月13日(金)です。欠席の方のご返事は不要です。

令和6年度総会・懇親会のご案内

日 時 令和7年2月23日(日) 11時開会

場 所 アークホテル岡山

岡山市北区下石井2丁目6-1 TEL 050-5576-7665

令和4年度および令和5年度の活動報告と決算報告のご審議をいただきます。

また役員改選の時期でもありますので、ご出席の程、よろしくお願いいたします。

懇親会につきましては、卒業生による記念講演、あとアトラクションも準備を予定しております。

来年には正式にご案内させていただきますので、今からご予約をお願いいたします。

支部最新ニュースはホームページで

県南支部のホームページでは、支部の動向が分かる最新のニュースをアップしています。アドレスは <https://www.tsukou-kennan.org/> です。支部の最新ニュースをお伝えする新着情報、同好会の活動報告、会報「県南クラブ」のバックナンバー紹介、支部のイベントを写真で紹介する「ギャラリー」などで構成しています。ぜひアクセスしてください。

岡山県立津山高等学校同窓会

岡山県南支部会報「県南クラブ」第28号

2024年8月20日発行

発行人 松本 健五

発行所 津山高校同窓会県南支部
〒700-0982

岡山市北区中島田町2-3-19

株式会社システムズナカシマ 気付

TEL. 090-2377-3950